

2025年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2 年
担当教員	青山 岡田 木梨 歯染原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第1回	ベースメイクアップ レッスン【色】	完璧なベース作りを目指す					
第2回							
第3回	眉4つの バリエーション【形】	トリミング方法、基本眉、シャープ眉					
第4回							
第5回	眉5つの バリエーション【形】	アーチ眉、ストレート眉					
第6回							
第7回	アイメイクの バリエーション①【形】	シングルパターン（大きな目元）					
第8回							
第9回	アイメイクの バリエーション②【形】	ダブルパターン（切れ長な目元）					
第10回							
第11回	チークの バリエーション【形】	基本形、シャープ、キュート					
第12回							
第13回	リップの バリエーション【形】	基本形、シャープ、キュート					
第14回							
第15回	【質感】①	マットな質感でフルメイク					
第16回							
第17回	【質感】②	パールな質感でフルメイク					
第18回							
第19回	総復習①	色、形、質感などのテーマを決めて （基本形）					
第20回							
第21回	総復習②	色、形、質感などのテーマを決めて （シャープ）					
第22回							
第23回	総復習③	色、形、質感などのテーマを決めて （ラウンド）					
第24回							
第25回	メイクアップデザインの 要素をふまえた イメージ構成と実習①	テーマ→フレッシュ					
第26回							
第27回							
第28回	メイクアップデザインの 要素をふまえた イメージ構成と実習②	テーマ→キュート					
第29回							
第30回							
第31回	メイクアップデザインの 要素をふまえた イメージ構成と実習③	テーマ→クール					
第32回							
第33回							
第34回	メイクアップデザインの 要素をふまえた イメージ構成と実習④	テーマ→エレガント					
第35回							
第36回							

2025年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2 年
担当教員	青山 岡田 木梨 歯朶原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第37回	メイクアップデザインの要素をふまえたイメージ構成と実習⑤	テーマ→ブライダル					
第38回							
第39回							
第40回	80年代メイク	80年代を意識したダブルラインを使ったアイメイク中心のレッスン					
第41回							
第42回	和装メイク	和装メイク					
第43回							
第44回	イエローベース ブルーベース	イエローベース ブルーベース					
第45回							
第46回	動物メイク	動物メイク 顔面を使って動物になろう					
第47回							
第48回	老人メイク	老人メイク					
第49回							
第50回	50年代メイク	50年代 マリリンモンロー（模写）					
第51回							
第52回	60年代メイク	60年代 ツイッギー（描きまつ毛）					
第53回							
第54回	春夏トレンドメイク	トレンドメイクとは					
第55回							
第56回		相モデルメイク 相モデルメイク					
第57回	撮影用メイク	デザイン画の重要性・撮影時に必要な知識					
第58回							
第59回		相モデルメイク 相モデルメイク					
第60回	ショーメイク	舞台・ファッション・眉つぶし					
第61回							
第62回		相モデルメイク 相モデルメイク					
第63回	粉メイク	水溶き白粉・アクアカラー・ボディクレンジング方法					
第64回							
第65回		相モデルメイク 相モデルメイク					
第66回	秋冬トレンド						
第67回		秋冬トレンドメイク					
第68回		相モデルメイク					
第69回							
第70回							
第71回							
第72回							

2025年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2 年
担当教員	青山 岡田 木梨 歯染原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。 成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論I～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第73回	秋冬トレンド	相モデルメイク					
第74回	ハロウィンメイク	傷・やけど・ペイント					
第75回							
第76回		相モデルメイク					
第77回		相モデルメイク					
第78回	作品作り	ロケハン・実習					
第79回		セルフ撮影					
第80回	ものまねメイク	石原さとみ風メイク					
第81回							
第82回		相モデルメイク					
第83回		相モデルメイク					
第84回							
第85回	アイブロウとは	上がり眉や下がり眉など眉の印象の変化について学ぶ 眉の名称 バランスの良い毛の流れ、描き方 アイブロウコスメの種類、眉に合わせた選び方、眉色の選び方					
第86回	描き方	前回授業の復習と共に確認 アイブロウ道具の商品名から使い方、手の動かし方 自眉にバランス良く自身で描いていく 眉のお手入れ方法（カットの仕方） アイブロウシザーズの持ち方、指の動かし方 安全に怪我がないよう手の甲や腕の毛でアイブロウカット練習					
第87回	アイブロウシザーズ &実技	前回授業の復習確認 デモンストレーションにてアイブロウを整え描いてみせる 相モデルで似合わせアイブロウ実技&話法確認					
第88回	似合わせアイブロウ	相手を変えてシザーズ&似合わせ実技&話法					
第89回	最終アイブロウ	右眉にクールな眉実技&左眉にキュートな眉実技					
第90回	最終アイブロウ	話法確認					
第91回	まつげエクステとは	まつげエクステ概論、現状					
第92回	まつげエクステとは	まつげエクステ概論、現状					
第93回	まつげエクステとは	まつげエクステ概論、現状					
第94回	装着方法	ツイザーワーク、ラッシュの掴み方、まつげのかき分け方、 グルーの塗布、根元の距離、根元の位置、毛先の方向性、手順					
第95回	装着方法						
第96回	装着方法						
第97回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					

2025年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2 年
担当教員	青山 岡田 木梨 歯染原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論Ⅰ～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第98回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					
第99回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					
第100回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					
第101回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					
第102回	装着練習	デザイン装着～セクシースタイル～ 9・10・11・12・13mm使用					
第103回	衛生学	道具の衛生（ツイザー、グループレート、ラッシュ）、 技術者の衛生（衛生手洗い、手指消毒、服装、頭髪）					
第104回	衛生学						
第105回	衛生学						
第106回	商材学	グルー、ツイザー、ラッシュ					
第107回	商材学	グルー、ツイザー、ラッシュ					
第108回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第109回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第110回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第111回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第112回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第113回	装着練習	デザイン装着～キュートスタイル～ 9・10・11・12mm使用					
第114回	長持ち装着のポイント	根元リフト、装着面、選択するラッシュ、グルーの量					
第115回	長持ち装着のポイント	根元リフト、装着面、選択するラッシュ、グルーの量					
第116回	長持ち装着のポイント	根元リフト、装着面、選択するラッシュ、グルーの量					
第117回	カウンセリング	まつげエクステのメリットデメリット、顧客への説明、注意事項、 アフターケア					
第118回	カウンセリング						
第119回	カウンセリング	まつげエクステのメリットデメリット、顧客への説明、注意事項、 アフターケア					
第120回	カウンセリング						
第121回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					
第122回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					
第123回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					
第124回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					
第125回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					
第126回	装着練習	デザイン装着～エレガントスタイル～					

2025年度 シラバス

科目名	メイク	区分	選択	授業時数	150時間	対象学年	2 年
担当教員	青山 岡田 木梨 歯染原	実務経験	有			コース	メイクコース
学修内容	メイクアップをデザインする上で必要な3要素（色、形、質感）について理解し、それぞれの要素を組み合わせたメイクアップデザインを構成し実習。テストにて理解力の確認を行い、ひとりひとりにレクチャーを行う。最終的に卒業制作としてカメラマンによるフォトシューティングにて作品を制作、およびアイブロウ、アイラッシュ技術の習得。						
到達目標	技術力とメイクアップの構成を実習で確認できるカリキュラムを組み、テーマをメイクアップで表現できることを目的とする。また、クリエイティブワークに進むために必要なプレゼンテーション能力やデザイン画の作成や卒業制作などで、自身の表現力が最大限に発揮できることを目的とする。						
授業の方法	テーマ、デザインに適した化粧品、ツール、技術を選択しメイクアップを構成することが出来る事。						
成績評価の方法と基準	終了制作で評価を行う。試験は100点方式をもって採点し、60点以上を合格とする。成績評価はA,B,C,Dで表し、A,B,Cまでを合格として履修を認定する。Dは再試験を受けなければならない。						
授業時間外に必要な学修の具体的内容	特になし						
実務経験に基づく授業内容	サロンでの業務の中に授業で伝授する顔分析やパーソナルカラー診断が含まれており、日々移り変わっていくトレンドやその時の情勢も授業にリアルに落とし込んでいる						
使用教材・教具	資生堂メイク・MAC・ソティス・メイク道具一式・プロアイリスト理論1～初級～						
履修に当たっての留意点	特になし						
各コマにおける授業計画							
回	主 題	授 業 内 容					備 考
第127回	装着練習	デザイン装着					
第128回	装着練習	デザイン装着					
第129回	装着練習	デザイン装着					
第130回	装着練習	デザイン装着					
第131回	装着練習	デザイン装着					
第132回	装着練習	デザイン装着					
第133回	装着練習	デザイン装着					
第134回	装着練習	デザイン装着					
第135回	装着練習	デザイン装着					
第136回	筆記試験	筆記試験（理解度チェック）					
第137回	デザイン考案	各自3種類以上の長さのラッシュを使用したデザインを考える					
第138回	デザイン考案	各自3種類以上の長さのラッシュを使用したデザインを考える					
第139回	デザイン考案	各自3種類以上の長さのラッシュを使用したデザインを考える					
第140回	デザイン考案	各自3種類以上の長さのラッシュを使用したデザインを考える					
第141回	お顔の分析	まつげ、まぶた、骨格分析する					
第142回	お顔の分析	まつげ、まぶた、骨格分析する					
第143回	お顔の分析	まつげ、まぶた、骨格分析する					
第144回	お顔の分析	まつげ、まぶた、骨格分析する					
第145回	デザイン考案	分析にもとづくデザイン考案					
第146回	デザイン考案	分析にもとづくデザイン考案					
第147回	デザイン考案	分析にもとづくデザイン考案					
第148回	装着	考案したデザインの装着➡提出					
第149回	装着	考案したデザインの装着➡提出					
第150回	装着	考案したデザインの装着➡提出					